

さくら並木

～災害対応・人口推移・地域医療の在り方

から見た本町を取り巻く現状と課題～

大河原町長 齋 清志

台風19号の襲来から1か月余りが過ぎましたが、被災された住民の皆様には改めて心から御見舞い申し上げます。被災の状況や国・県の支援制度も明らかになる中で、今後は被災者の生活支援への対応と復旧工事への早期着手に努めてまいります。さらには、り災ごみの広域処理などの新たな課題へも柔軟に対応し、被害の大きかった丸森町などへの人的支援も継続して行っていくこととしています。

そして、防災・減災が『人の生命を守る』取り組みであることを自覚し、今回の災害対応の検証を進めながら本町の抱える課題の解決に向けて努力してまいりる決意をしたところです。町民の皆様にはご理解とご協力を切にお願い致します。

次に、5年目を迎えている地方創生が目指す人口減少対策の現状についてです。本町の人口は、ほぼ横ばいの状態が続いています。11月1日現在の人口は23,659人で、前年同月比で21人の増加です。亡くなる方が生まれる子ども数を上回る自然減ですが、若い世帯の方々が転入する状況が明確となり、社会増が人口の減少をカバーしています。選ばれるまち（ブランド化）を目指す本町としては大変有難

いことであり、その結果として子どもの数も大きく減ることもなく、また高齢化率の伸びも鈍化している現状です。

しかし問題なのは、近隣市町からの転入が多く、仙南地域全体としては大幅な人口減少と少子高齢化に拍車がかかっていることです。『地方創生は、勝者のいない自治体間の競争を生んでいる』という指摘もあり、本町だけが人口を維持しても中長期的には決して喜べる訳ではないと受け止めています。今こそ、広域的な視点でのつながりに着目し、仙南の4極構造（白石・角田・柴田・大河原）と擲擲される状況を乗り越えて、実質的な連携の成果が求められていると考えています。

そして、もう一つの大きな課題は、地域医療の在り方の問題です。9月末に大きな話題となった、国・県の進める『地域医療構想』に基づき今後の再編統合を議論するべき公立・公的病院のリストの公表がありました。続いて11月末までに、地域内の中核的病院の再編統合についても重点地域や対象病院が公表されることになると言われています。

仙南二次医療圏では、刈田・中核

の両病院が対象となることは間違いないと受け止めています。県と東北大学では、国の推進支援事業による検討が既に始まっていると思われませんが、住民への説明責任も大切な視点ですので、統合ありきではないことを願っています。刈田は回復期医療を、中核は急性期医療を担うといった医療機能の連携と分化から検討・検証が成されるべきと考えます。

千年に一度に迫る災害への対応、地域全体の人口や子ども数の減少対策、そして地方が抱える地域医療の課題などに対し国・県・地方が一体となり、将来に向けて持続可能な状況をどう担保するのか。極めて重要な局面を迎えているものと認識しているところです。

(11月12日記)



えずこホール イベント案内

ケロポンズ ファミリーコンサート

代表曲“エピカニクス”は、保育園や幼稚園で人気の定番体操曲。YouTube 動画再生回数は、6,000万回を超える人気ぶり。作詞、作曲を手掛けた歌や、考案したあそび歌は1000作品を超える。親子向けのコンサートは年間約100公演行い、どの公演も親子で楽しめる笑顔いっぱいのお祭りです。大河原で初開催！ご家族揃って、お越しください。



2020/2/1[土] TICKET 全席指定
12:40開演 **2,500円**
※3歳以上有料、2歳以下膝上観覧無料、席が必要な場合は有料

ヒューとノムラの ミステリー音楽 ワークショップII

ヒュー・ナンキベル(イギリス)と野村誠(京都)の2人の作曲家が再来！お題に合わせて、参加者のアイデアで曲や歌詞を創作します。音楽で遊び尽くす不思議でユニークな4日間。楽譜が読めない人も楽しく参加できます。発表会(12月8日開催/入場無料)は、推理小説&などその観客参加型。



2019/12/5[木]-8[日]
①5日、②6日/19:00-21:30
③7日/18:00~20:30
④10:00-15:00
会場：えずこホール
■参加費：1,000円(4日間通し)
■対象：どなたでも

※詳しくはホールまでお問い合わせください。

みんなおいてよ! えずっこひろば ～親子で楽しむ遊びの場所～

12/10[火]
10:00~12:00
■参加：無料
■会場：練習室1
(出入り自由/申し込みの必要はありません。)

お問い合わせ TEL 0224-52-3004
info@ezuko.com
URL http://www.ezuko.com/
えずこホール
仙南芸術文化センター
〒989-1267 柴田郡大河原町字小島1-1



学び舎通信

町内小中学校の情報を
毎月お届けします



「雨二モ負ケズ 伝統のもがり祭」

大河原南小学校では、創立当初から「もがり祭」が続いており、今年は第39回もがり祭として10月19日(土)に開催いたしました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、朝早くから保護者の皆さんと地域の皆さんにおいでいただき、ご支援・ご協力をいただきました。子どもたちも、雨にも負けず雨天を晴らすように、元氣いっぱい自分の仕事や活動に励みました。

午前の部は、体育館で5年生が企画・運営した出店で遊んだり、もちつきをしたりしました。JA婦人部と保護者の皆さんの協力の下、6年生が中心となりもちもがり鍋を作りました。たてわり班ごとに集まり、家族そろっておいしいもち



ともがり汁を食べ、心も体も温まりました。

午後の部は、音楽発表会で、各学年が練習の成果を発揮して、素晴らしい発表にすることができました。南小とともに歩んできた伝統ある「もがり祭」を、これからも継続していきたいと思

暗唱大好き

「英語の暗唱にチャレンジ!」

毎週金曜日の暗唱読本の日は、どの生徒も積極的に取り組んでいます。3週間かけて暗記に取り組み、月末に、クラス内で暗唱発表会を行っています。

先月は、「竹取物語」にチャレンジしました。合唱コンクールや学習文化発表会の準備のため、練習に時間がかげられませんでした。なんと全員発表会までに覚えることができました。

現在は、英語のことわざの暗唱に臨んでいます。短いフレーズですが、どれも聞いたことのあることわざです。"When the cat's away, the mice will play." "It's a ghost in the night to wash." "The cat is far away." 英語では、「猫が遠くにい



るときはネズミは遊ぶでしょう」の意味なんですね。なるほどなあと感心しながら、みんなで楽しく勉強しています。発表会はもうすぐです。英語の表現と日本語の表現の違いも味わいながら大きな声を出して暗唱を頑張ってください。

